



PRESS RELEASE

新国立劇場 2023/2024シーズン バレエ&ダンス NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO 2023/2024 SEASON BALLET&DANCE

新国立劇場バレエ団 The National Ballet of Japan

くるみ割り人形



NATIONAL
BALLET
OF JAPAN
New National
Theatre, Tokyo

OPERA
PALACE
Tokyo
オペラパレス

The Nutcracker
and the Mouse King

2023.12.22(金) ……→ 2024.1.8(月・祝)

資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

ひとりで、ふたりで、ご家族で。新国立劇場が贈るステキな冬の物語

2017年に初演された本作は、ウエイン・イーグリングによる華麗でスピーディーな振付、上品で華やかな美術や衣裳によって、古典名作の新境地を開いたと高く評価された人気演目です。「少女クララの夢」をテーマに、恋心を抱いた青年との冒険を通して大人への入り口を踏み入れていくクララの成長を描いています。再演を重ねることでさらに磨き上げられた舞台をご堪能ください。

新国立劇場の冬の風物詩として大人気の『くるみ割り人形』をぜひクリスマス、年越し、お正月の特別なイベントとしてお楽しみください。

『くるみ割り人形』ご観劇のおすすめポイント3選！

1. 小さなお子様から大人まで、全ての方におすすめ！幸せいっぱいの舞台

今やホリデーシーズンの定番となったバレエ『くるみ割り人形』。

幸せで温かな気持ちになる作品で、バレエ初心者の方も、バレエ・ファンの方も劇場で至福の時をお過ごしいただけます。

雪の場面や花のワルツでは新国立劇場バレエ団が誇る美しいコール・ド・バレエ、2幕でのディヴェルティスマンなどではソリスト陣の多彩な踊りを堪能できます。



2. チャイコフスキーのお馴染みの美しい音楽



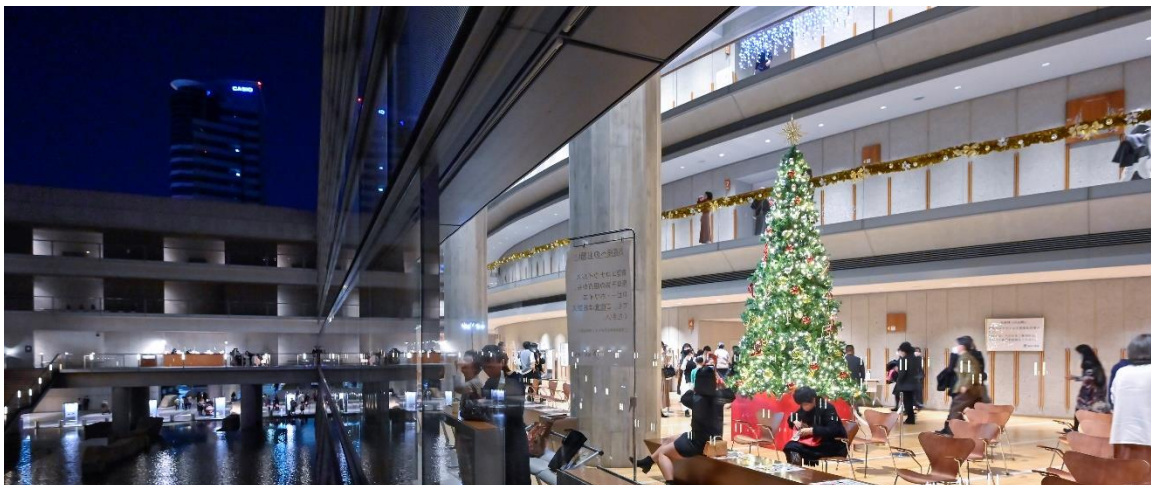
「花のワルツ」をはじめ「行進曲」「こんぺい糖の精の踊り」など、テレビや街中でも聞き覚えのある有名な曲が次々と登場。チャイコフスキー三大バレエのなかでもひととき美しく親しみやすい音楽で、どなたにも楽しんでいただけます。

さらに、12月1日～2024年1月8日の期間限定で、『くるみ割り人形』より「行進曲」が初台駅の列車接近メロディーになります。新国立劇場ダンス公演『サーカス』『NINJA』で音楽を担当された川瀬浩介さんが編曲した特別アレンジ版で、1番線と2番線は編曲の異なる別バージョンです。ぜひ駅から『くるみ割り人形』の世界をお楽しみください。

3. ホリデーシーズンならではの劇場の雰囲気味わう

クリスマス・年越し・お正月にお客様をお迎えするにあたり、劇場はツリーなどが飾られ特別仕様に。

ご来場のお客様全員へのプレゼント企画も予定されています。劇場で過ごす時間を含めて、ホリデーシーズンの特別な雰囲気をお楽しみください。



ものがたり

クリスマス・イブ。クララの家ではパーティーの準備で忙しく、外では凍った運河の上で人々がスケートを楽しんでいる。謎めいたドロッセルマイヤーと、士官学校を卒業したばかりの彼の甥が到着する。ドロッセルマイヤーは招待客に手品を披露し、クララの姉のルイーズとルイーズを慕う3人の男性が踊りだす。ドロッセルマイヤーがクララに贈ったくるみ割り人形（以下、人形）をフリッツが壊してしまうが、ドロッセルマイヤーは魔法のように人形を元通りに直す。パーティーが終わり、クララが眠りにつくと、夢の中で人形は邪悪なねずみの王様に攻撃される。ねずみの王様がねずみたちを引き連れて現れると人形も勇敢な兵士に変身し、ねずみたちとの戦いに挑む。ねずみの軍隊が勝利し、人形は傷を負ってしまう。ドロッセルマイヤーがその場を取め、クララは人形から姿を変えた甥と二人ロマンティックなパ・ド・ドゥを踊る。しかし雪が降り始めるなか、ねずみの王様は甥を人形の姿に戻してしまう。居間が魔法にかかり、光り輝く雪片が降る白銀世界に変わっていく。ねずみの王様たちに追われるクララと人形は、ドロッセルマイヤーに救われて、魔法の地へと気球に乗って運ばれていく。一方でねずみの王様は一計を案じる。

魔法の地に到着した。甥はねずみの王様を打ち負かして、壮大な祝祭が始まる。中国、アラビア、ロシア、スペインなど世界中のダンサーたちが様々な踊りを見せる。ドロッセルマイヤーの魔法で美しい庭が現れ、その中でダンサーたちが花のワルツを踊る。最後にクララはこんぺい糖の精となり、王子になった甥とともに美しいパ・ド・ドゥを踊る。

クララは突然、寝室で目覚めた自分に驚く。フリッツとクララは外に出て、雪の中でドロッセルマイヤーとその甥に手を振って別れを告げる。子供たちは不思議な思いに包まれて二人を見送る。



2022年公演より
撮影：瀬戸秀美

スタッフプロフィール

【振付】 ウェイン・イーグリング Wayne EAGLING



カナダのモントリオール生まれ。ロンドンのロイヤル・バレエ学校で学び、卒業後1969年に英国ロイヤル・バレエに入団。1975年にはプリンシパル・ダンサーに昇進。同バレエ団のレパートリーの主たる古典的な役の全てを踊り、マクミラン、アシュトン、バランシン、ロビンス、ハンス・ファン・マーネン、ノイマイヤー、ヌレエフ、ビントレーといった振付家の作品に出演。ロイヤル・バレエ・スクール用に『R.B.Sque』(83年)、ロイヤル・バレエ公演に『フランケンシュタイン、現代のプロメテウス』(85年)などを創作。91年にダンサーとしての現役を引退し、その後13年間オランダ国立バレエの芸術監督を務める。オランダ国立バレエのための振付作品は、『Ruins of Time』(93年)、『魔笛』(98年)、『春の祭典』(2000年)など。05年から12年までロンドンのイングリッシュ・ナショナル・バレエの芸術監督として『レゾリュション』(08年)、『Men Y Men』(09年)、『くるみ割り人形』(10年)、『遊戯』(12年)の振付を行っている。新国立劇場バレエ団では14年『眠れる森の美女』を改訂振付、16年『Men Y Men』日本初演、17年『くるみ割り人形』振付を手がけた。

【美術】 川口直次 KAWAGUCHI Naoji



1962年日本放送協会に入局。大河ドラマなどテレビドラマの美術で活躍するかたわら、オペラ・バレエ・演劇などの舞台美術を数多く手がける。77年伊藤熹朔賞受賞。83年文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。日本放送協会を退職後、武蔵野美術大学で、舞台美術、映像美術の教育に携わる。新国立劇場のバレエ公演では、『バキータ』『こどものためのバレエ劇場『シンデレラ』』、2014年『眠れる森の美女』、15年『ホフマン物語』、17年『くるみ割り人形』、オペラ公演では『セビリアの理髪師』『トスカ』『こうもり』の美術を手がけた。その他バレエの代表作としては、『新 白鳥の湖』『ロミオとジュリエット』(松山バレエ団)、『ドン・キホーテ』(牧阿佐美バレエ団)など。近年手がけたオペラ作品としては、『ラ・ボエーム』『フィガロの結婚』『セビリアの理髪師』(名古屋二期会)、新作オペラ『いのち』(長崎県オペラ協会公演)などがある。オペラ、バレエのほか演劇や映画の美術を多数手がけており、代表的な映画作品に伊丹十三監督作品『静かな生活』『スーパーの女』『マルタイの女』がある。武蔵野美術大学名誉教授。

【衣裳】 前田文子 MAEDA Ayako



1988年より緒方規矩子に師事。95年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてイギリスへ留学。新国立劇場では演劇公演『喪服の似合うエレクトラ』『夢の痂』『ヘンリー六世』『雨』『リチャード三世』『アジア温泉』『プレス・オブ・ライフ』『星ノ数ホド』『オレスティア』『骨と十字架』『リチャード二世』『東京ゴッドファーザーズ』『キネマの天地』『レオポルトシュタット』、オペラ公演『蝶々夫人』『鹿鳴館』、バレエ公演では石井潤『カルメン』、ダレル『ホフマン物語』、イーグリング『くるみ割り人形』、ダンス公演の伊藤キム『close the door, open your mouth』、前田清実『きらめく背骨』の衣裳も手がけている。95年度伊藤熹朔賞新人賞、第10回・第25回・第28回読売演劇大賞優秀スタッフ賞、2003年度伊藤熹朔賞、第5回橘秋子舞台クリエイティブ賞、第53回紀伊國屋演劇賞個人賞、第30回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞を受賞。

【照明】 沢田祐二 SAWADA Yuji



東京生まれ。文化庁派遣在外研修員としてロンドン、ベルリンで演劇、オペラ、バレエの照明法を研修。現在は演劇、オペラ、バレエ、ミュージカルなど幅広いジャンルで照明デザイナーとして活躍。新国立劇場におけるバレエ公演では『眠れる森の美女』『ホフマン物語』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ライモンダ』『白鳥の湖』『ジゼル』『マノン』『カルメン』『オルフェとエウリディーチェ』『椿姫』『火の鳥』『パゴダの王子』など。日本バレエ協会公演『白鳥の湖』『ジゼル』『眠れる森の美女』『アンナ・カレーニナ』なども手掛ける。他に新国立劇場ではオペラで『カルメン』『魔弾の射手』『黒船』『修善寺物語』『鹿鳴館』『夜叉ヶ池』、演劇では『城』『わが町』『アジア温泉』『ピグマリオン』『かもめ』『オレスティア』などを手掛ける。第1、10回照明家協会賞大賞、文部大臣奨励賞。第1回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞。第33回紀伊國屋演劇賞。第1回橘秋子舞台クリエイティブ賞を受賞。

【指揮】 富田実里 TOMITA Misato



国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBAバレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『パキータ』『ペンギン・カフェ』『白鳥の湖』『ジゼル』を指揮した。

配役・プロフィール

2023年12月									
	22日 (金) 19:00	23日 (土) 13:00	23日 (土) 18:00	24日 (日) 13:00	24日 (日) 18:00	25日 (月) 14:00	28日 (木) 14:00	29日 (金) 13:00	29日 (金) 18:00
クララ	小野絢子	池田理沙子	木村優里	柴山紗帆	米沢 唯	小野絢子	柴山紗帆	木村優里	米沢 唯
王子	福岡雄大	奥村康祐	渡邊峻郁	速水涉悟	井澤 駿	福岡雄大	速水涉悟	渡邊峻郁	井澤 駿

2023年12月	2024年1月							
	31日 (日) 16:00	1日 (月・祝) 14:00	2日 (火) 14:00	3日 (水) 14:00	6日 (土) 13:00	6日 (土) 18:00	7日 (日) 14:00	8日 (月・祝) 13:00
クララ	柴山紗帆	米沢 唯	池田理沙子	小野絢子	廣川みくり	小野絢子	池田理沙子	木村優里
王子	速水涉悟	井澤 駿	奥村康祐	福岡雄大	速水涉悟	福岡雄大	奥村康祐	渡邊峻郁

【クララ/こんぺい糖の精】

小野絢子 ONO Ayako <プリンシパル>



東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほとんどの作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『バゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橋秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。

木村優里 KIMURA Yuri <プリンシパル>



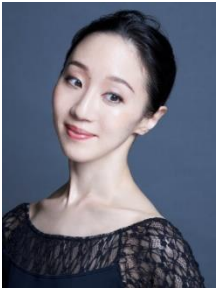
千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『眠れる森の美女』『ジゼル』やF.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、R.プティ『コッペリア』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』で主役を踊り好評を博した。22年プリンシパルに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川鋭之助賞を受賞。

柴山紗帆 SHIBAYAMA Saho <プリンシパル>



東京都出身。バレエスタジオ DUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。15年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主役デビューを果たし、『白鳥の湖』『ラ・バヤデール』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』『ジゼル』、F.アシュトン『シンデレラ』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』の主役のほか、W.イーグリング『眠れる森の美女』フロリナ王女、P.ダレル『ホフマン物語』オリンピアなどを踊っている。21年ファースト・ソリスト、23年プリンシパルに昇格。

米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>



愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリス、森山開次『竜宮 りゅうぐう』プリンセス亀の姫などがある。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。

池田理沙子 IKEDA Risako <ファースト・ソリスト>



東京都出身。バレエスタジオ DUO で学ぶ。2009年ユース・アメリカ・グランプリ女性シニアの部銅メダルほかコンクール受賞歴多数。Kバレエカンパニーを経て、16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し19年ファースト・ソリストに昇格。『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』『ジゼル』やF.アシュトン『シンデレラ』、R.プティ『コッペリア』、D.ビントレー『アラジン』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』などで主役を踊り好評を博している。

廣川みくり HIROKAWA Mikuri <ソリスト>



岡山県出身。堤ゆみ子、尺田知路、三谷恭三、ゆうきみほに師事。2016年に新国立劇場バレエ研修所を修了し、新国立劇場バレエ団に入団。21年ファースト・アーティスト、23年ソリストに昇格。W.イーグリング『眠れる森の美女』飲みの精、サファイア、『くるみ割り人形』花のワルツ リード、D.ビントレー『アラジン』パール、『ドン・キホーテ』グラン・パド・ドゥ 第2ヴァリエーション、『ライモンダ』クレメンス、P.ライト『白鳥の湖』クルティザンヌ、ハンガリー王女、W.タケット『マクベス』三人の魔女、F.アシュトン『夏の夜の夢』蛾の精などを踊っている。今回の公演が主役デビューとなる。

【ドロッセルマイヤーの甥/くるみ割り人形/王子】

井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>



群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典やR.プティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D.ビントレー『アラジン』ランプの精ジーンなどを踊っている。18年中川鋭之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞、22年芸術選奨文部科学大臣新人賞。

奥村康祐 OKUMURA Kosuke <プリンシパル>



大阪府出身。母・地主薫に師事し、09年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団に入団し、16年よりプリンシパル。『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』などといった古典作品やD.ビントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主役のほか、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロルなどを踊っている。10年文化庁芸術祭新人賞、14年舞踊批評家協会新人賞、16年中川鋭之助賞、22年芸術選奨文部科学大臣賞。

速水涉悟 HAYAMI Shogo <プリンシパル>



京都府出身。ジョン・クランコ・バレエ学校を経て、2015年ヒューストン・バレエに入団。15年ユース・アメリカ・グランプリ NY ファイナル男性シニア部門金賞、審査員特別賞を受賞。18年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。20年『ドン・キホーテ』で全幕主役デビューを果たし、『竜宮 りゅうぐう』『ジゼル』の主役のほか、『アラジン』ランプの精ジーン、『ロメオとジュリエット』ベンヴェーリオ、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ルイス・キャロルなどを踊る。21年ファースト・ソリスト、23年プリンシパルに昇格。

福岡雄大 FUKUOKA Yudai <プリンシパル>



大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て2009年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12年よりプリンシパル。D.ビントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。17、19年ダンス公演中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11年中川鋭之助賞、13年舞踊批評家協会新人賞、18年芸術選奨文部科学大臣新人賞、23年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>



福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主役やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、R.プティ『コッペリア』フランツ、「Shakespeare THE SONNETS」などを踊り好評を博している。

公演概要

2023/2024 シーズン

新国立劇場バレエ団「くるみ割り人形」

The Nutcracker and the Mouse King


芸術監督	吉田 都
振付	ウエイン・イーグリング
音楽	ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
美術	川口直次
衣裳	前田文子
照明	沢田祐二
指揮	富田実里 ほか
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
合唱	東京少年少女合唱隊
出演	新国立劇場バレエ団

【公演日程】

2023 年

12月22日(金)	19:00
12月23日(土)	13:00 託児 / 18:00
12月24日(日)	13:00※ / 18:00
12月25日(月)	14:00 
12月28日(木)	14:00
12月29日(金)	13:00※ 託児 / 18:00
12月31日(日)	16:00


2024 年

1月1日(日・祝)	14:00
1月2日(月・休)	14:00
1月3日(火)	14:00
1月6日(土)	13:00 託児 / 18:00
1月7日(日)	14:00 
1月8日(月・祝)	13:00

*開場は開演 45 分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

※12月24日(日) 13:00 公演、29日(木) 13:00 公演は「ぴあスペシャルデー(ぴあ貸切公演)」のため、前売り券は「チケットぴあ」で販売いたします。新国立劇場ではZ席のみ販売します。

託児 託児室<キッズルーム「ドレミ」>がご利用になれます。

 バックステージツアー実施日（12月25日：25歳以下優先デー／1月7日：一般のお客様向け）

- ・事前申し込み・抽選制（定員：60名）です。
- ・ご参加は、当日の公演チケットをお持ちの方のみとさせていただきます。また、ご希望数が定員を上回った場合、事前のお申込み及び公演当日のお申込みを合わせて抽選といたします。
- ・事前のお申込みは公演情報ページ上の、申し込みフォームよりお申し込みください。
- ・ツアー内容が決定次第、公演初日の約1週間前を目安にフォームを掲載いたします。

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より1駅、初台駅中央口直結）

【予定上演時間】約2時間15分（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/nutcracker/>

【チケット料金（税込）】

席種	S席	A席	B席	C席	D席	Z席*
料金（税込）	14,850円	12,650円	9,350円	6,050円	4,950円	1,650円

*Z席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z席は公演当日朝10:00から、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1人1枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は開演2時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

アトレ会員先行販売期間：2023年10月8日（日）10:00～18日（水）

新国メンバーズ先行販売期間：2023年10月9日（月・祝）10:00～18日（水）

一般発売日：2023年10月22日（日）10:00～

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>（PC、携帯共通）

イープラス <http://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC、携帯共通）

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

*年末年始のボックスオフィスの営業時間につきましてはwebサイトをご確認ください。